



# 議会だより

2007  
平成19年

7月25日発行

No.105

○発行…太良町議会編集委員会

○〒849-1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6 TEL 0954-67-2151

○<http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>



7月5日 白浜海水浴場（海開き）

**吉田智氏が多良小、中学校へ250万円寄附**  
(太良町出身で東京都在住)  
**一般会計補正予算 446万6千円**

議会会議録がインターネットで見られるようになりました。

◎太良町議会のホームページ <http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>

にアクセスし会議録をクリックしてください。



# 会期6月8日～15日 (8日間)

## 一般会計補正予算

### 主な事業

- 勤労意欲促進事業 (障害者に対する給付) **213万円**
- 消防施設改修費 (栄町、里) **487万円**
- 消防団員退職報償金功労金 (退団者29名) **799万円**

平成十八年度一般会計  
繰越明許費繰越計算書  
の報告

広域漁港整備事業千六百四十四万七千円、小学校費の耐震診断委託料三百七十五万五千円、中学校費の耐震診断委託料五百九万五千円、道路等災害復旧事業千四百三十万六千円、漁港施設災害復旧事業二千三百七十一万五千円の各翌年度繰越額について、本年三月定例議会で繰越明許費の議決を得ていたため、地方自治法施行令第百四十六条第二項の規定に基づき報告する。

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

選挙関係の経費基準額の改正に伴い、経費の一部

である投票管理者等の報酬金日額一律百円の減。

専決処分事項の承認を  
求める。

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う町税条例の改正で、住宅バリアフリー改修に伴う固定資産税の減額措置が創設された。

専決処分事項の承認を  
求める。

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う町国民健康保険税条例の改正で、国民健康保険税の基礎賦課限度額を五十三万円から五十六万円に引き上げる。

平成十八年度一般会計  
補正予算(第七号)の  
専決処分

地方譲与税、地方交付税、交通安全対策特別交付金、町債等の額が確定したことに伴う財源措置と、歳出については、各事業費の確定に伴う追加補正等。

専決処分事項の承認を  
求める。

補正後の一般会計予算の総額は四十五億九千三百四十四万千円。

平成十八年度太良町国民健康保険特別会計補正予算は、予算の額が確定したことに伴い専決処分したものである。内容は、国・県等の財政調整交付金、定期預金の解約、レセプト電算処理システム導入等に伴う額の確定。

# 6月定例議会

## 平成十八年度町立太良病院事業会計補正予算 専決処分

資本的収入の国保会計補助金額が確定したことによる補正。

内容は、レセプト電算処理システム導入に伴う国保調整交付金百十万二千円の増額補正。

## 太良町柑きつ経営農家に対する資金の融通に伴う利子補給及び損失補償条例の一部を改正する条例の制定

平成十九年四月一日に融資機関である佐賀みどり農業協同組合の合併により、佐賀県農業協同組合の発足に伴う融資機関の変更のため改正。

## 平成十九年度一般会計補正予算(第一号)

補正予算の主なものは、

障害者自立支援対策にかか  
る勤労意欲促進事業費二百  
十三万千円、名木・古木樹  
勢回復委託料百二十一万八  
千円、消防団員退職報償金  
と退職功労金七百九十九万  
円、栄町と里地区の消防施  
設改修費に対する補助金四  
百八十七万七千円、東京都  
八王子市在住の吉田 智氏  
寄附による、多良小中学校  
図書購入費及び教材備品購  
入費二百五十万円の補正等  
で、合計四百四十六万六千  
円の増額補正。

補正後の一般会計予算の  
総額は歳入歳出それぞれ四  
十六億九千四百四十六万六千  
円。

## 平成十九年度簡易水道特別会計補正予算(第一号)

総務費三十四万三千円は、  
職員手当・共済費の補正。

管理費二百八十万千円は、  
入札結果による減額補正。  
建設事業費二百五十七万  
円は、配水管敷設の単独事  
業の増額補正。

## 平成十九年度水道事業会計補正予算(第一号)

原水及び浄水費四十二万  
二千円は入札結果による減  
額補正。

配水及び給水費二万二千  
円と総係費七万四千円は、  
共済費の増額補正。

## 平成十九年度漁業集落排水特別会計補正予算(第一号)

一般管理費四万二千円は、  
共済費の増額補正。

## 太良町議会委員会条例の一部を改正する条例

議員定数の減少に伴い、  
太良町議会委員会条例の一  
部を改正。

内容は、総務・経済・建  
設の三常任委員会を総務・  
経済建設の二常任委員会に  
改正。

### 二つの意見書を

#### 関係省庁へ提出

#### 日豪EPA交渉に関する 意見書

わが国の豪州からの農林  
水産物輸入の割合は高く、  
米、麦、牛肉、乳製品、砂

糖など重要な品目が含まれ  
ている。

取り扱い如何によっては  
地域経済をも崩壊させる懸  
念があるので、交渉にあ  
たって政府に対して毅然と  
した対応を求めるもの。

#### 義務教育費国庫負担制度の 堅持を求める意見書

「義務教育費国庫負担制  
度」は「教育の機会均等・  
水準の維持向上」を具現化  
する現行教育制度の重要な  
根幹をなす制度であるが、  
財務省は、その負担を地方  
に転嫁する意図のもとに、  
制度そのものの廃止にも言  
及している。

地方財政が厳しさを増す  
今、義務教育費国庫負担制  
度の見直しは、財政状況の  
差が教育に影響しかねない  
ため、本制度の堅持を強く  
要請するもの。



# 七議員がアタック 八議員がアタック 町政へ

## 一般質問



### 福祉に力を

#### 答へ理解している

##### 福祉の充実について

**山回** 福祉の充実の中には、地域の福祉、高齢者福祉、児童福祉、障害者、障害児の福祉など幅の広い分野がある。

身障者、いろんな身障者の方がいるが、車いすの方などの各施設における対応、身障者における配慮、それに絶対に必要な設備などの対応は。

**町長** 小さい館の場合は、障害者の方々の利用に際しても、障害者専用駐車場の設置や、館内には視覚障害者用ブロック、専用トイレ、エレベーター等を設置し、全館バリアフリーの施設としている。

**山回** 小さい館の利用の推進に力を入れよ。  
職員の方々の活動、アピールにも力を入れるべきだ。

**町民福祉課長** 今後ともよりたくさんの方に館を利用

用してもらい、みんなが集まる元気な施設を目指して取り組んでいこうというところで、指定管理者の社協と共に協議を行っている。

**山回** 車いすの方のトイレにかかわる設備を極力重視して対応するべきだが、太良町立病院ではどうか。

**病院事務長** 身障者用のトイレを見て回り必要を認認してやるつもりである。

**山回** 小さい館での対応は。

**町民福祉課長** 利用者の方々の意見、要望を聞いて、上司に相談しながら取り組んでいく予定。

**山回** 実際身障者の方々が我々に話を持ってくる前に係に直接話、相談できる立場であってほしい。

佐賀県新障害者プラン「さがチャレンジドプラン」というものが作成されているが、障害者、身障者は弱い立場であるか

ら、チャンスにあたえられた人がチャンスをもてできるような福祉を考えてほしいし、弱きになつてマイナスの方がプラスに上つてこれるような対応をするべきだ。

**町民福祉課長** そのような認識に立つて今後も対応していきたいと考えている。

**山回** いろんな基本理念といいますが、一番大事なものは、社会参加の支援を十分整えていくべきではないか。

**町民福祉課長** 十分理解している。

##### 地区懇談会の実施を

**山回** 町長、執行部を交えた、地区懇談会の実施をした方が、新町長岩島カラーを見ることができると思うがどうか。

**町長** 今後地区懇談会を開催するに当たっては、住民の皆様の意見を直接聞くことが望ましいテーマ

### 山口 光章 議員

や問題が惹起した折が適当ではないかと考えている。

##### 休養村大ホール横に雨よけ通路を

**山回** 休養村センター大ホールの外の通路に雨よけがなく、雨天のときは

非常に不便を感じている。特に、保育園児、小中学校の子供たちや踊りをする人、またはカラオケ会の人々、講演会の講師など、その移動の際に、雨が降って非常に不便だといふふう利用者は大変困っているが担当課としての考えは。

**町長** 今後の検討の課題ということ、もう少し時間をもらいたいと思う。

**山回** 小さな問題でも、大きな予算を使うのは非常に心苦しいことだろうと思うが、町長の今後の検討課題として頭に入れてほしい。



玄関のバリアフリー





# JR振興策を急げ

木下 繁義 議員

## 答▼地権者との契約を進め着工に努力する

**杵下** 振興策の県道多良岳線、県道竹崎上田古里線の進捗は。

**町長** 多良岳線は平成十九年三月関係者に説明会が開催され、県から地権者に事業の同意のお願いをされ100%の同意は得ていないが、区長や役員の協力で県と合同で用地交渉を行っている。

県道竹崎上田古里線の路線測量や道路詳細設計は完了し、地権者説明会も開催されているが、用地買収は済んでおらず工事発注も出ていない。今後関係者に事業説明をして、同意を得られるよう区長等の協力を得て早期完成に努めたい。

**杵下** 多良岳線、竹崎上田古里線の事業についての地域住民の期待は非常に大きく、事業の進捗に不安の声を聞くがどうか。

**町長** 先般県の部長等が来町され、同意を得た方は売買契約をして金を払い、出来た分から着工出来るよう努力をしている。

**杵下** 町道亀之浦、道越線の改良は。

**町長** 亀之浦、道越線は全長三千八百メートルの一級町道であり、本線の改良は平成十六年度行っており今後も緊急性を考慮し改良を考えている。

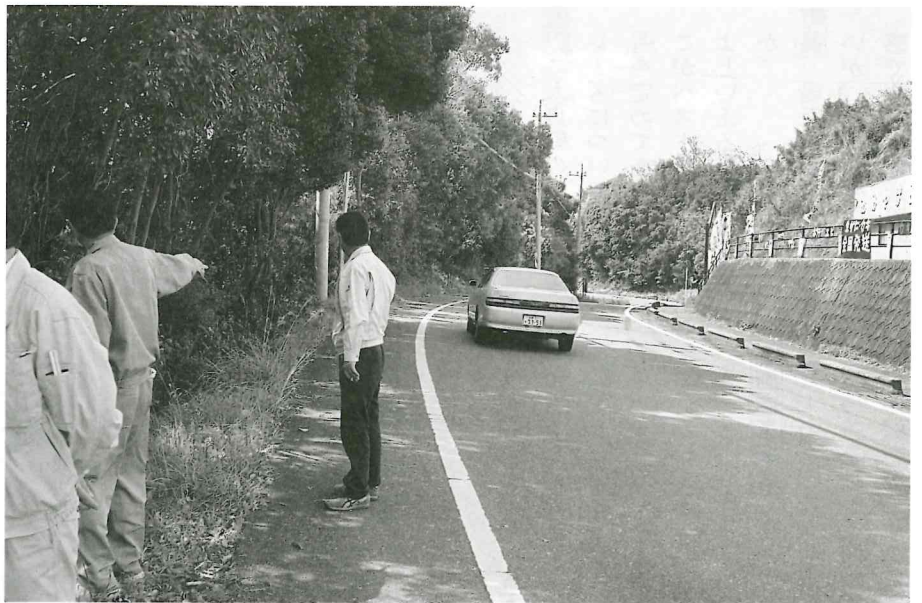
**杵下** 津ノ浦、牛尾呂線公有水面側溝整備は。

**町長** 津ノ浦牛尾呂線区間約四千メートルは一級町道で公有水面側溝整備は平成十五年から十七年度で整備をし、残り区間は町道と水路間に民有地があり、それを町に寄附して貰い其の後事業をするよう協議しており手続きが終われば着工の計画がある。

**杵下** 野上峠線道路拡幅は。

**町長** 野上地区内を結ぶ、約千二百メートルは平成十五年度で改良工事を実施しており、地域での必要性は十分理解しているが財政的に厳しいので今は農道的町道は用地、立木等は地権者の無償提供で町が原材料支給し地

元で施工をして貰う考えである。



竹崎上田古里線の改良を急げ

討している。

**杵下** 地産地消更に地販地消推進条例を、ある町で推進協議会が発足され町民意識を高めると言うことで制定されている。

町内の店で買物をしましょうと、出来るだけ、町民に意識づけようという出来ぬか。

**町長** 町民のニーズは多様化しており、大型店舗や一円でも安い物を買おうという考えから、町外での買物もあると思う。対応として以前に町内の買物にポイントカードで何点か引ききして還元する方法等もあり商工会婦人会、区長会に話して検討する。

**杵下** 竹崎西泊船台上広場の舗装整備は。

**町長** 当広場は漁具等作業用地として補助事業で整備した用地であり用地計画に基づいた利用で舗装の必要があれば地元漁民、区民の皆さんと検討を考

情を受け緊急性の高い所から原材料支給をしており、順次予算の範囲内で支給を考えている。

**杵下** 伊福埋立土地利用につ

**杵下** 牟田県界線補修の原材料支給は。

**町長** 平成十九年五月に陳





# 太良町の福祉について問う

見陣 泰幸 議員

## 答▼計画的に検討したい

**見陣** 町内にある公共の施設で出入り口、駐車場、トイレ等身障者用の整備はどれくらい進んでいるのか。

**町長** 公共施設の出入り口、駐車場はほとんど終わっている。  
トイレについては、古い建物は改修が難しく、整備が十分でない状況である。

**見陣** 車椅子専用駐車場のスペースは、規格どおりにとってあると思うが、利用者本人にとっては狭い気がする。  
できたら当事者の方たちと交えて再検討してもらいたい。

**町長** 身障者用のスペースは、企画は幅二・五mブ

ラス1mである。については利用者の立会いのもと現地等を検討し早急に改修なり対応をしたい。

**見陣** 出入り口は場所によってスロープの勾配が急なところもあり再検討の必要があると思うがどうか。

**町長** 場所によっては施設を建てた後、急遽作ったスロープなので正式な勾配ではないところもあり今後の検討課題としたい。

**見陣** 太良庁舎の敷地内で車椅子でも利用できるような遊歩道はつくれないか。

**町長** 庁舎の周辺は、敷地内の施設を利用される人あるいは車両が多く安全確保の面や用地確保など

課題も多く大変厳しい状況である。

**見陣** 小さい館裏の防波堤になつていてところは利用できないか。

**町民福祉課長** 遊歩道は難しいが、現段階では小さい館を利用される方々も含めて、小さい館海側の維持管理道路や防波堤が散歩に利用できると考えている。

**見陣** 竹崎城址、あるいは森林公園に町内の福祉施設から花見などに利用したことがあると聞いたが気軽に利用できるような整備はできているのか。

**企画商工課長** 竹崎城址の問題は、二三年前から検討はしているが、トイレについては今後対応できるとしても、展望台までは地形的にも、費用的

にもかなりかかるので現段階では厳しい問題だと思ふ。

**農林水産課長** 森林公園については、自然を利用した公園で傾斜があつたりで費用的にもかなりかかるのが、身障者用駐車場など上司と検討しながらできるものから整備を進めて行きたい。

## 月の引力の見える町 太良町について

**見陣** 太良町のキャッチフレーズについて、特に場所を定めてあるのか、ここがベストスポットですよといえる場所があるのか。

**町長** 場所の特定はしてないが、潮の満ち引きを体感できる海中道路や白浜



竹崎城址 (バリアフリーは?)

海水浴場などがベストスポットだと思う。

**見陣** 太良町民の中にはキャッチコピーを理解していない方もいると思うが、どうか。

**企画商工課長** キャッチコピーの意味は有明海の干満の差を通して間接的に月の引力を感じることが

出来ると言うものである。発案者である林田重人様を招いて講演会を開催したおり、月の引力が見える町を太良町のキャッチコピーとしていただいた経緯があり、今後町内外へPRを兼ねて情報発信をしていきたい。



# 今後の有明海再生策は

川下 武則 議員

答▼核心に迫った調査研究の成果が出ていない

## 有明海再生について

**川下** 有明海の再生のために海中調査等が行われているが、不漁の原因が漁業者へ何の報告もされていない。

現在の有明海の調査、不漁の原因を県が説明を行うよう、町が要請できないか。

**町長** 不漁の原因は漁業者へは報告されていないが、関係漁協の役員レベルには県、国の調査報告会が行われている。

しかし調査研究は主に基礎的な事項だ。有明海異変の原因は現時点で特定されていない。

**川下** タイラギ漁が昨年十二月になされたが、思った程の漁獲量が見込めず、漁業者の方は厳しい生活環境にある。

漁業の後継者をつくるためにも町がタイラギ育

成を図る考えはないか、県に要請できないか。

**町長** 国、県レベルでもタイラギ資源の回復は重要な課題である。

佐賀県では継続的調査

研究が行われ、長崎県では平成十五年〜十七年まで諫早湾、干潟浅瀬の二漁場で稚貝の移植試験が行われ、昨年十月に初めてタイラギの稚貝の育苗生産実用化にめどがついた。

また国では独立行政法

人水産総合研究センターの西海区水産研究所でタイラギの養殖技術の研究開発が行われている。タイラギの育成、有明海再生を国、県へ今後要望していく。



有明海（タナジブ）





# たらふく館運営について

竹下 武幸 議員

## 答▼株式会社か有限会社がベターだと思っ

**筒下** たらふく館が開館して二年経過している。順調に売り上げを伸ば

し、経営も安定しているが、建物は官・運営は民との事だが行政として責



たらふく館

任がどこまであるのか。経営面でもどこまで介入出来るのか、又たらふく広場の今後の計画について問う。

**町長** 運営については、一切町は関与しない。基本的には、自己の責任のもとで運営していくことになっている。

南側のゾーンの利活用は民間活力の導入による土地の利活用を検討しているが、公有水面埋立法の縛りを受ける土地なので、県と相談し検討している所である。

**筒下** 特産品販売所なので地産地消が原点であり定款にも安心安全が明記してある。

消費者ニーズに答える為、利益を上げる為、太良町にない物は仕入れて売るとい事だが、本当にそれで良いのか。

**町長** たらふく館の店長と出品状況等把握して、今後話し合いをしたい。

**筒下** 経済常任委員会です。売所の研修に行き運営母体はNPO法人より、株式会社か有限会社の方が良いとの事であった。

災害時等は特にこまるとの話でNPO法人は四国には一ヶ所もない。

**町長** 利益分を出品者に配当出来るという点でも、株式会社か有限会社がベターだと思っ。

**筒下** 平成十七年一月三十一日に運営協議会が設立され十八年五月十日にNPO法人の承認登記があつている。

五月二十六日に運営協議会の通常総会が開催され、法人化の推進活動の名目で、株式会社、農業法人、NPO法人を運営組織として、勉強会を開

催すると提案されている。八月二十三日にNPO法人の通常総会が開催されているが、五月十日よりNPO法人承認の臨時総会の九月二十八日まで、たらふく館に二つの運営母体があつた事になる。

**町長** NPO法人ありきの臨時総会だったのかと思っ。もっと会員が納得してからも良かったのでは。

**町長** それは確におかしと思っ。

皆さんが納得しておられるのかと解釈している。

**筒下** 月の引力が見える町として有明海に関係した施設は。企画商工課長 展望所や潮の干満の差を体感出来る漁業体験等を今後行っ。

## 太良町バスの運行について

**筒下** 太良町では、毎日どこで福祉バスが運行されている。

廃止路線代替バスも中山、風配、竹崎と三路線に補助金を交付して運行している。

三路線とも乗車密度が低いので廃止路線にして、太良町バスを町内に巡回した方が便利で利用者も多いと思っ。

**町長** 運行制度の確立が必要になり、運行日、運行経路、運行時間、人件費や道路運送法等の法的整備、料金等問題の検討を行う必要が生じてくる。

## 消防団組織の再編について

**筒下** 消防団員の職種や職場は多岐になり、緊急出動の際各都で出動人員に達せず時間だけが経過しているの各都の部員を最低十五人位に統合出来ないのか。

緊急時だけ役場職員の消防団員による出動体制は出来ないのか。

**町長** 十五人以下の部が十部あり、そのうち二部は現在統合について話し合いを進めている。

緊急時の役場職員の出動については、今後検討する。





# 将来展望に立った 小・中学校の方向づけは

浜崎 敏彦 議員

## 答▼ぜひ必要と考えている

### 教育行政について

**浜崎** 少子化が進む中、将来展望に立った小・中学校の方向性について、どう考えているのか。

**教育長** 全国的に近年の少子化傾向に伴って、小・中学校の統廃合や教育環境整備等が問題となっている。

特に大浦小学校においては、平成二十六年度、一年生から六年生まで、すべてが一クラスになることが予想されている。

学校教育にさまざまな課題が生じないよう、人口動態や児童・生徒数の推移、併設や統合の制度、地域住民の意向等々、情報収集を図り、教育環境整備について将来を展望しての方向づけをぜひ考えていかねばならないと考えている。

**浜崎** 多良小学校の分校が三里、中尾分校二校があるが、今後の取り扱いについて検討されたことがあるか。

**教育長** 平成十四年一月、分校教育の実態と将来展望について、教育委員会、

学校、保護者、地区代表者の方々との話を交えて話し合いをした経緯があり、地域の方々の希望を受け、本校との交流授業を充実させながら、現在に至っている状況である。

特に中尾分校については、今年度中には地域の方とも十分協議しながら、一定の方向づけをする必要があると考えている。

**浜崎** 今年度計画されている大浦中学校屋内運動場増改築事業の進捗状況は、

**教育長** 今年度に完成させたいと思っているが、認可がまだ来ていない状況だからやや遅れている。

どうしても今年度完成が難しいときには、繰越しもやむを得ないと考えている

### カキ養殖について

**浜崎** タイラギ漁にかわって起死回生策として、平成十三年度の試験養殖から補助事業として支援してきたが、漁業者の収支は掌握しているのか。

また、今後の支援策、つまり補助事業はいつま

で考えているのか。

**町長** 一基当たりの平均収入は、百六十八万四千元であり、養殖経費が百七万六千円である。

基本的に自分の労賃まで計算すると、採算はまだまだ合っていないと考えている。

町の単独での支援は、平成十九年度までであり、平成二十年度以降は県単独事業や国庫補助事業で採択されるよう県へ要望をしていく。

**浜崎** ブランド化の進捗状況は、

**町長** 商標はまだとれていない。

**浜崎** 一元集荷、一元出荷は確立できたのか。

**町長** 一元集荷の確立のためには、安定した生産確保に努め、生食用として市場等への販売が必要であると考えている。

平成十九年四月一日に県下漁協が合併し、佐賀県有明海漁業協同組合が発足しており、本所の販売方も竹崎カキの販売について検討されている。

**浜崎** カキ部会の研修を講師を招いてされたということだが、その内容は、

**農林水産課長** 現在の設置



大浦中学校全景

場所が水深が浅く、波浪の影響を受けやすく、沖合の風上側に浮き桟橋等を設置し、波浪を緩和したほうがいいが、非常に金額がかさむ。

採算の問題については、施設費は生産額の二割以内が望ましく、構造としては、金属より木材及びコンポーズを使用し、さびが進まないような材質が望ましいということであった。

台船式いかだについて

### 火葬場について

**浜崎** 進捗状況と今後の見通しは、

**町長** 現在地区の住民代表の方と協議を行っている状況である。

町としては、現在の場所に改築するということで地元の同意が得られるよう慎重に協議を重ねていく。



# 総務常任委員会 視察研修報告



小浜町の視察

## 長崎県雲仙市小浜町 公立新小浜病院視察

四月十八日、公立新小浜病院を視察。この病院は廃院予定から、松藤町長の指導で、特異な再生を遂げ従来考えられなかった手法で改革、発展が進められた。  
自治体病院を民間である特定医療法人に管理委託されたモデルケースとして注目されている。

### 4月～6月

## 議会のあゆみ

4・1	消防入退団式	5・7	議会だより編集委員会	5・28	後期高齢者医療広域連合臨時議会
4・2	教諭赴任式	5・9	水道運営委員会	5・29	鹿島市交通安全協会総会
4・5	交通対策協議会	5・11	春の交通安全県民運動	6・4	県議長会臨時総会
4・6	教諭辞任式	5・14	議会だより編集委員会	6・5	病院運営委員会
4・10	太良高校入学式	5・16	佐賀県町村議長会	6・6	九州新幹線に関する講演会
4・11	小・中学校入学式	5・17	防衛協会総会	6・8	6月定例議会招集
4・14	軟式野球総合開会式	5・18	総務常任委員会	6・11	B&G佐賀県連絡協議会総会
4・18	総務常任委員会研修	5・20	ソフトボール総合開会式	6・12	定例議会、一般質問
4・19	佐賀県町村議長会慰霊祭	5・21	後期高齢者医療広域連合全員協議会	6・13	スポーツ振興会理事会
4・20	議員全員協議会	5・22	議長・副議長研修会(東京)	6・15	定例議会、議案審議
4・24	議会だより編集委員会	5・23	国会議員との懇談会(東京)	6・21	観光協会通常総会
4・25	議会だより編集委員会	5・24	太良町商工会総会	6・22	果実協同組合総会
4・26	育英学生審査委員会	5・27	鹿島ガタリンピック	6・26	たら漁協給油施設落成式
4・27	太良地区みかん部会総会			6・27	教育振興会理事会
4・29	町民体育大会				評議委員会
5・1	道の駅太良オープン記念式典				
5・2	高校総体実行委員会総会				

### 編集室より

今年の梅雨時期も毎年のように豪雨による被害が至る所で出ております。県内武雄、白石方面で床上浸水が出ており心から御見舞申し上げます。本町には大きな被害が出ないよう祈っています。来たる七月二十九日参議員選挙と町議会選挙が同時に行われます。選挙民の義務として投票に参加しましょう。五十年振りに全国高校総体が七月二十八日から八月二十日まで、二十九競技が県内一円で開催されます。本町内では七月二十八日から八月一日まで二会場で行われますので、町民の応援と歓迎を期待します。

### 編集委員会

- 委員長 木下 繁義
- 副委員長 岩島 好
- 委員 恵崎 良司
- 久保 繁幸
- 浜崎 敏彦
- 見陣 泰幸
- 川下 武則